

にじいろ通信

はじめまして 号

はじめまして！にじいろサポーターの上田恵美（うへだえみ）です。
肩書きっぽいものがついていますが、私はそこらへんにいる普通の大阪のオカンです。



赤ちゃんの頃からエンゼルでお世話になった息子2人が発達ゆっくりさんです。
幼少期、周りちょっと違う…？ということがいっぱい。それはそれはとっても大変な日々でした…。

長男は2014年生まれの8歳で、この4月から小学3年生。
2018年生まれ、4歳の次男は幼稚園の年中さんになります。

幼児期、言葉がなかなか出ず、周りの子たちとどんどん差が開いていった長男2～3歳前後。

エンゼルに遊びに来てもお友達や設定保育内容には全く目もくれず、自分の世界に没頭してひたすら物を並べているか、癇癢起こして泣いているか…というタイプでした。



おしゃべりしないので…ということで、市の健診では経過フォローに。

その後3歳でふたば幼児教室へ週1の通所→年少になるときに幼稚園入園も検討し、
いろんな園を見に行きましたが、プレでは教室にすら入っていけず癇癢。やっと入れても感触遊びではパニックを起こして暴れる…等々。プレは3回目で離脱…。

どうにかこうにか入園先を探し続けたのち、はつがの園へ年少さんの春に入園。

年少年中と2年通ったのち、年長になるときに公立保育園へ補助の先生をつけてもらって転園しました。

その間に自閉症と診断名がつき、いろいろな資源につながり今に至ります。

小学校は支援級を利用しながら通常級と行ったり来たり。どちらも楽しいと言っています。

周りの子よりはゆっくりで、課題もたくさんありますが、ニコニコ笑って学校に通う小学生になりました。

次男も言葉がゆっくりでした。お兄ちゃんと少し違ったのは、エネルギー高めで動き回り、走り回る止まらないタイプだったこと。やはり1歳半健診で別室へ呼ばれ、以降保健師さんのフォロー継続中です。

お兄ちゃん同様ふたば教室にもお世話になりました。

一旦決まりかけた幼稚園入園を断られたりと、入園検討時はかなり苦労しましたが、

その後ご縁があった今の幼稚園では言葉の面もグッと伸びて、まだまだ課題はあるものの、毎日楽しそうにしているので、見守り中です。



こんな発達のお悩みだったり、「発達障がい」という言葉も、だいぶ一般的に知られるようになってきたけれど、やっぱりまだまだ理解されにくい、生きにくい、みんなと違うなっていう孤独感を抱える瞬間は多々あって。

地域から理解が広がっていくことが私のささやかな願いです。

発達っ子もそうじゃない子もみんなみんな地域の宝物。
障害の有無に関わらずみんながそのままの自分で
ニコニコ生きられるやさしい世界になるといいな。

そのための啓発や発信を続けていきたい。

その中でちょっと前の私たちのような親子さんに寄り添えることが少しでもあれば。

経験談しか持ってない普通のイチ保護者だけど。

ママたちが抱えてるしんどさ、少しだけわかる気がするから。

そんなこんなでサポーターとか名乗っちゃってるけど、

ここに集まってくれるママたち・こどもたちのことが好きで来てるだけのごく普通のオカンです（笑）

みなさま、仲良くしてくださいね♡

● 知っていますか？4月2日～4月8日は発達障害啓発週間



毎年4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。

2007年開催の国連総会において、毎年4月2日を

「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day) とすることが決議され、

全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

わが国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、

自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。

具体的には、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、

シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。

自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、

発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるもの

と考えております。

みなさまのご理解とご支援をお願いいたします。

(世界自閉症啓発デー公式サイトより抜粋)